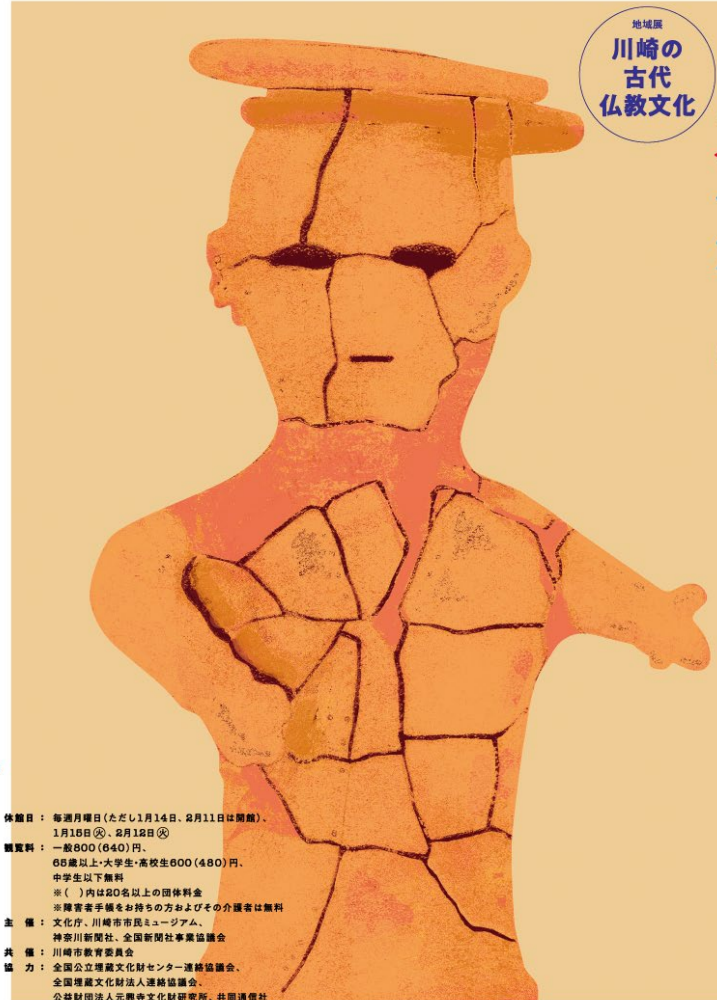


—川崎市市民ミュージアム 2019年1月～2月の企画展—



発掘された

2019年1月8日(火) ↓ 2月17日(日)
9:30 ↓ 17:00
(入場は16時30分まで)



地域展
川崎の
古代
仏教文化

日本列島
2018
新発見考古速報

休館日：毎週月曜日(ただし1月14日、2月11日は閉館)。
1月18日◎、2月12日◎
観覧料：一般800(640)円、
65歳以上・大学生・高校生600(480)円、
中学生以下無料
※()内は20名以上の団体料金
※観覧券手帳をお持ちの方およびその介護者は無料
主催：文化庁、川崎市市民ミュージアム、
神奈川新聞社、全国新聞社事業協議会
共催：川崎市教育委員会
協力：全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会、
全国埋蔵文化財法人連絡協議会、
公益財団法人元興寺文化財研究所、共同通信社
後援：全国史跡整備市町村協議会

川崎市市民ミュージアム 企画展示室1
〒211-0082 神奈川県川崎市中原区等々力1-2(等々力緑地内) TEL 044-754-4800 FAX 044-754-4853 <http://www.kawasaki-museum.jp/>

展覧会メインビジュアル(縦)

2019年1月8日(火)～2月17日(日)

川崎市市民ミュージアム

主催＝文化庁、川崎市市民ミュージアム、神奈川新聞社、全国新聞社事業協議会

共催＝川崎市教育委員会

協力＝全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会、全国埋蔵文化財法人連絡協議会、
公益財団法人元興寺文化財研究所、共同通信社

後援＝全国史跡整備市町村協議会

開催概要

日本列島では、毎年約 8,000 件の発掘調査が行われています。「発掘された日本列島 2018」展では、このうち近年発掘され成果がまとまった全国 17 の遺跡から 546 点にわたる資料を速報展示します。さらに、特集展示として全国の代表的な装飾古墳を取り上げます。古墳内部に表現された幾何学紋や器財・動物・人物等の文様は、古墳時代の死生観や葬送儀礼を知る上で極めて高い価値があります。この特集は、東日本大震災や平成 28 年に発生した熊本地震により装飾古墳が被災した事態を受け、装飾古墳の世界やその保護の取り組みを紹介するものです。

川崎でも、重要な遺跡が数多く発掘されています。現在の川崎市域には、かつて古代武蔵国の橘樹郡・多磨郡・都筑郡がありました。この三郡にはそれぞれ、橘樹郡に影向寺遺跡、多磨郡に菅寺尾台遺跡、都筑郡に岡上栗畑遺跡の古代仏教遺跡があります。瓦塔や「寺」と書かれた墨書土器(ぼくしよどき)などが「ムラ」の遺跡から出土し、また丘陵地帯には骨蔵器を用いた古墓群が造営されました。これは古代になって新しく出現した有力氏族の墓所と考えられます。本展では、これらの遺跡から発掘された資料から、古代寺院の成立とその後仏教が「ムラ」に浸透していく過程を描きだします。古代の川崎に華開いた、仏教文化をご観覧ください。

展示構成・見どころ

■ 発掘された全国 17 の遺跡から 546 点を速報展示！

毎年約 8,000 件の発掘調査が行われている日本列島。そのうち、近年注目された全国 17 の遺跡から 546 点の資料を速報展示します。新たに特別史跡になった日本最大級の貝塚である加曾利貝塚(かそりかいづか)や、「日本のポンペイ」とも呼ばれ、榛名山の火山灰に埋まった古墳時代の「ムラ」である金井東裏遺跡(かないひがしうらいせき)の資料がやってきます。



《異形台付土器》
特別史跡 加曾利貝塚(千葉県千葉市)縄文時代

■ 全国各地の装飾古墳を紹介！*パネル展示

古墳の内部に描かれた幾何学紋や人物像などは、われわれの祖先の死生観を知る重要な資料です。しかしその脆弱性から、装飾図像を実際に見ることはできません。今回は、大型写真や実際の出土資料を通じて、その内部の様子をお伝えします。特別史跡王塚古墳の五色で彩られた石室や、赤色顔料で描かれた七重の渦巻きが有名な清戸迫横穴(きよとさくおうけつ)などを見ることができます。

■ 川崎に栄えた古代仏教文化の重要資料を多数公開！*川崎地域展示



古代の川崎に栄えた仏教文化は、東日本でも最古級の古代寺院である影向寺遺跡を中心として展開しました。本展では、この影向寺遺跡出土の文字瓦や、市域の各地に勢力をもった有力氏族の古墓から出土した骨蔵器など、川崎市重要歴史記念物を中心とした、古代仏教関連資料約 100 点を一堂に公開します。

《銅鏡》

浄元寺裏横穴墓(神奈川県川崎市)古墳時代 川崎市教育委員会蔵

関連イベント

○ 記念講演会

- 1月12日(土)14:00～16:00 はぶ たよしゆき 土生田 純之 氏(専修大学文学部教授)
 2月9日(土)14:00～16:00 ねぎ たよしお 禰宜 田 佳男 氏(文化庁文化財第二課主任文化財調査官)
 1F映像ホール／定員270名／参加無料(要観覧券)／当日先着順

○ かそりーぬ来館イベント

- 1月12日(土)、2月9日(土)午後
 1F映像ホール、エントランス、企画展示室1前

○ ベビーカーツアー

- 1月17日(木) 11:45～(30分程度)
 2F企画展示室1／0歳～未就学児とその保護者(親子6組)／要観覧券
 ＊当館HPより要事前申込 1月10日(木)応募締切

○ スペシャルトーク

- 2月10日(日)11:00～12:00
 「展示輸送のプロが語る“列島展”の作り方ー展示の裏側を大公開ー」
 登壇者: 桃井宏和氏(公益財団法人元興寺文化財研究所研究員)
 2F企画展示室1／要観覧券／当日直接会場へ

○ 展示解説

- 1月13日(日)、14日(月・祝)、19日(土)、20日(日)、26日(土)、27日(日)
 2月2日(土)、3日(日)、10日(日)、11日(月・祝)、16日(土)、17日(日)
 各日14:00～15:00(予定)／2F企画展示室1／要観覧券／当日直接会場へ
 ※会期中の土日祝日は学生ボランティアによる展示解説を同時実施します。



特別史跡加曾利貝塚 PR 大使
「かそりーぬ」

【博物館常設展示室】 ＊展覧会と別途、どなたでも無料で観覧できます。

川崎市市民ミュージアム2Fの博物館常設展示室では、考古・歴史・民俗の豊富な資料で川崎の通史を紹介しています(無料)。
 展示室は「民俗」「原始」「古代」「中世・近世」「近現代」のテーマごとに立体的な導入展示が設けられ、全体として約1,500㎡の広々とした空間で、都市・川崎の歴史と風土、地域と人々の関わりを学ぶことができます。

[上]川崎市市民ミュージアム博物館常設展示室内観 [下]「原始」の導入展示



展覧会概要

○展覧会名 発掘された日本列島 2018 新発見考古速報

○会 期 2019年1月8日(火)～2月17日(日)

○休 館 日 毎週月曜日(ただし1月14日、2月11日は開館)、1月15日(火)、2月12日(火)

○開館時間 9:30～17:00(入場は閉館の30分前まで)

○会 場 川崎市市民ミュージアム 企画展示室1

○観 覧 料 一般800(640)円、65歳以上・大学生・高校生600(480)円、中学生以下無料

※()内は20名以上の団体料金。※障害者手帳等をお持ちの方およびその介護者は無料。

主催＝文化庁、川崎市市民ミュージアム、神奈川新聞社、全国新聞社事業協議会

共催＝川崎市教育委員会

協力＝全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会、全国埋蔵文化財法人連絡協議会、
公益財団法人元興寺文化財研究所、共同通信社

後援＝全国史跡整備市町村協議会

<川崎市市民ミュージアム 施設概要>

多彩な表情を持つ都市、川崎。川崎市市民ミュージアムは、「都市と人間」という基本テーマを掲げて1988年11月に開館した、博物館と美術館の複合文化施設です。

■住所／〒211-0052 神奈川県川崎市中原区等々力1-2(等々力緑地内)

■開館時間／ 9:30～17:00(入場は閉館の30分前まで)

■休館日／月曜日(休日の場合は開館)、祝日の翌日(土日の場合は開館)、年末年始

■料金／入館・博物館展示室は無料。企画展、アートギャラリー展は展覧会によって異なる。

*障害者手帳等をお持ちの方およびその介護者は企画展観覧無料。

*20名以上の団体でご利用いただく場合、割引有。



■アクセス／

下記いずれもバス停「市民ミュージアム前」下車すぐ

*武蔵小杉駅(JR南武線、横須賀線・湘南新宿ライン、東急東横線・目黒線)よりバスで約10分

*武蔵溝ノ口駅(JR南武線)・溝の口駅(東急田園都市線・大井町線)よりバスで約20分

*JR川崎駅よりバスで約40分

広報用画像

画像の使用を希望される方は、川崎市市民ミュージアム広報担当宛にご連絡ください。
ご使用の際は、それぞれ以下キャプションをご記載ください。

※画像のご使用は本展覧会を紹介していただける場合に限りです。展覧会終了後のご使用はご遠慮ください。
※画像使用の際は、確認のため事前にゲラをメール・FAX等でお送りいただけますようお願いいたします。
※掲載後、掲載紙(誌)・DVD等を当館広報宛にご送付いただけますようご協力をお願い申し上げます。

<p>【1】</p> 	<p>【2】</p> 	<p>【3】</p> 	<p>【4】</p> 
<p>《異形台付土器》 特別史跡 加曾利貝塚(千葉県千葉市) 縄文時代</p>	<p>《深鉢型・浅鉢型・あわび型土器》 特別史跡 加曾利貝塚(千葉県千葉市) 縄文時代</p>	<p>《みみずく土偶》 特別史跡 加曾利貝塚(千葉県千葉市) 縄文時代</p>	<p>《石槍》 本ノ木遺跡(新潟県中魚沼郡津南町) 縄文時代</p>
<p>【5】</p> 	<p>【6】</p> 	<p>【7】</p> 	<p>【8】</p>  <p>※パネル展示</p>
<p>《銅鐸》 雲出川下流域遺跡群(三重県津市・松阪市) 弥生時代</p>	<p>《人物埴輪》 神田・三本木古墳群(群馬県藤岡市) 古墳時代</p>	<p>《人物埴輪》 神田・三本木古墳群(群馬県藤岡市) 古墳時代</p>	<p>《王塚玄室》 特別史跡 王塚古墳(福岡県嘉穂郡桂川町)</p>
<p>【9】</p>  <p>※川崎地域展示</p>	<p>【10】</p>  <p>※川崎地域展示</p>	<p>【11】</p>  <p>※関連イベントで登場</p>	<p>※その他、本リリース内の画像および本展メインビジュアル(縦・横)は全て提供可能です。お気軽にお申しつけください。</p>
<p>《銅鏡》 浄元寺裏横穴墓(神奈川県川崎市) 古墳時代 川崎市教育委員会蔵</p>	<p>《骨蔵器(レプリカ)》 有馬入山古墓(神奈川県川崎市) 奈良時代 川崎市教育委員会蔵</p>	<p>特別史跡加曾利貝塚 PR 大使「かそりーぬ」 ※イラストバージョンも提供可。</p>	<p>発掘された日本列島 3018 川崎市市民ミュージアム 企画展 特別展 展覧会メインビジュアル(横)</p> 

【プレスリリースお問い合わせ】川崎市市民ミュージアム 営業・広報担当 坂下

TEL: 044-754-4500(休館日を除く 9:30~17:00) FAX: 044-754-4533

MAIL: pr_kcm@kawasaki-museum.com

HP: <http://www.kawasaki-museum.jp/>

*指定管理者: アクティオ・東急コミュニティー共同事業体